ァパート2 ~/ p.2~3

## インスペクターからのコメント(82回)

今日は本当に良い天気の中で活動が でき、嬉しく思います。相生山がテ レビや新聞の投書欄など色々なとこ ろで話題になっていますね。モノを つくる場合、皆で一緒につくって、 完成したときが一番嬉しいし、その 楽しみを得るために今、頑張ってい るというのが我々のモチベーション なのかな、と思います。完成しても 自然に対して大きな影響は考えられ ないし、ヒメボタルも共存できると 思っています。皆さんで一生懸命完

成に向けて取り組んで いきましょう。

**何とか結論が出そうな感じにな** り、先が見えてきました。それ までは今までやってきたことを 進めていくしかありません。結 論に関わらず、ワーキングとし ては、今までなるべく自然を変 えないようにということでやっ てきたわけですから、やはり今 後もできるだけ回復していく方 向にもっていくことを考えなが ら、手を入れていかなければい けませんね。これからも大変で

すが、よろしくお 願いします。

大竹インスペクター

今日あらためて、やっぱり道路をし っかりつくっていかないと、このま まの状況が一番森にとっても人にと ってもかわいそうだと感じました。 |中断中ですが、私たちは着実にデー タを蓄積して、安心感を与えられる 材料を皆さんに提供していきたいで すね。またセンサーカメラも気づけ |ばたくさんのシャッターを切ってい て、これまでに撮れた多くの動物た ちとどのように共存していったらい いのかを皆さんと提案していけたら

いいかなと思います。

長谷川インスペクター

穴を掘って用土を入れ、

岡村インスペクター

第82回施工ワーキング

に恵まれ、気持ちよく活動できました。

· 環境に配慮した道づくり」施工ワーキングだより

平成25年11月24日(日)に第82回施工ワーキングを開催し、 22名が参加しました。

今回は施工ワーキング全体で植生回復活動を行いました。切 土法面へのツツジの植栽、シェルター構造上部へのどんぐりの 植栽、どんぐりポットづくりなどを分担しました。

# 第82回 プログラム

環境に配慮した取り組み

- 1. 状況説明
- 2.前回の確認
- 3.交通量調査結果について
- 4.グループ活動
- 5.秋の植生回復活動

ツツジの植栽

昨年挿木したツツジの苗を切土法面に植栽しました。



まずは草刈りから

地面が硬いので、 植栽穴を掘るのも 重労働です。





ある程度育つまで草が 生えないように生分解性 のシートでマルチングを 行いました。

今年も7月の施工ワーキングで 来年の植栽用にツツジの挿木を



### 問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課内「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話:052-972-2873 FAX:052-972-4168

http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-7-0-0-0-0-0-0.html

どんぐりの植栽

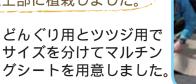
植生回復活動

### どんぐりの苗をシェルター構造上部に植栽しました。



マルチングシートを留める 杭を竹で作りました。

> どんぐりの苗を間隔を あけて植えていきます。



施工ワーキングでは、毎年秋の開催日に植栽などのフィールドワークを行っています。今年も天気



植栽した箇所に木の枝で 目印をつけました。



### 来年の植栽用にどんぐりポットをつくりました。



土づくりのようす





この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。